16－４　受取手形記入帳

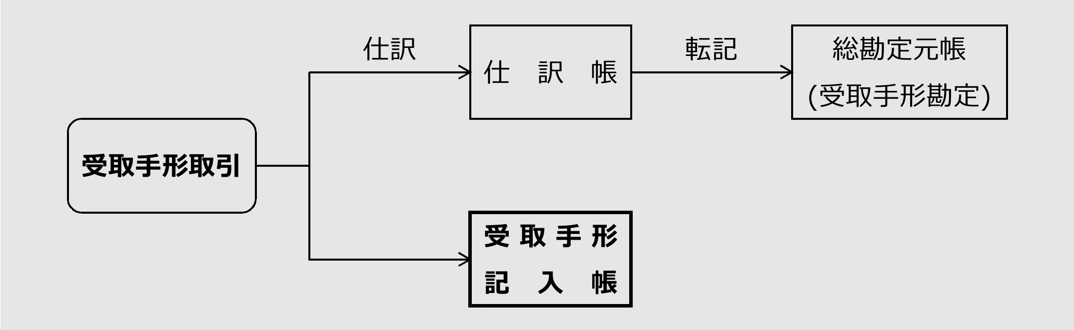
【重要性：Ａ】

ＰＯＩＮＴ！

①　受取手形記入帳から情報を読み取り、仕訳を行えるようにしよう！

②　総勘定元帳（「受取手形」勘定）との関係に注意しよう！

受取手形の明細を記録するための補助簿（補助記入帳）を、**受取手形記入帳**といいます。仕訳帳と総勘定元帳への記帳のほかに、受取手形に関する取引が受取手形記入帳に記帳されます。



受取手形記入帳は以下の手順で記入します。

① 日付欄には、取引が行われた日を記入します。
② 手形種類欄には、約束手形なら「約手」、為替手形なら「為手」と記入します。
③ 手形番号欄には、手形の番号を記入します。
④ 摘要欄には、仕訳の相手勘定科目を記入します。
⑤ 支払人欄には、手形代金の支払人を記入します。
⑥ 振出人または裏書人欄には、手形の振出人または手形の裏書人を記入します。
⑦ 振出日欄には手形の振出日を、満期日欄には手形の満期日を記入します。
⑧ 支払場所欄には、手形代金が支払われる金融機関名を記入します。
⑨ 手形金額欄には、手形金額を記入します。
⑩ てん末欄には、受取手形の減少した日付とその内容を記入します。手形代金を当座により回収したら「当座入金」、裏書譲渡したら「裏書き」、割り引いたら「割引」と記入します。なお、てん末欄に何も記入されていない場合は、決済されず保有していることを示します。

受　取　手　形　記　入　帳

日付		手形種類	手形番号	摘　要	支払人	振出人または裏書人	振出日		満期日		支払場所	手　形金　額	てん末		
							月	日	月	日			月	日	摘　要
?	?	約手	22	売　　上	A商店	A商店	?	?	?	?	x銀行	×××	?	?	当座入金
?	?	約手	52	売 掛 金	A商店	A商店	?	?	?	?	x銀行	×××	?	?	裏 書 き
?	?	約手	10	売　　上	D商店	D商店	?	?	?	?	x銀行	×××	?	?	割　　引
?	?	約手	77	売 掛 金	A商店	A商店	?	?	?	?	x銀行	×××			

例題16－4 **次の受取手形記入帳から読み取れる取引について、仕訳を行いなさい。なお、手形の裏書きは仕入代金の支払として行われ、手形の割引にかかる割引料は100円で手取額は当座預金に預け入れた。**

受 取 手 形 記 入 帳

日付		手形種類	手形番号	摘 要	支払人	振出人または裏書人	振出日		満期日		支払場所	手 形 金 額	てん末		
							月	日	月	日			月	日	摘 要
4	8	約手	22	売 上	A商店	A商店	4	8	7	7	x銀行	1,000	7	7	当座入金
5	2	約手	52	売 掛 金	A商店	A商店	5	2	8	2	x銀行	2,000	7	9	裏 書 き
6	5	約手	10	売 上	D商店	D商店	6	5	9	5	x銀行	3,000	8	1	割 引
7	1	約手	77	売 掛 金	A商店	A商店	7	1	9	9	x銀行	4,000			

日付	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
4／8	受 取 手 形	1,000	売 上	1,000
5／2	受 取 手 形	2,000	売 掛 金	2,000
6／5	受 取 手 形	3,000	売 上	3,000
7／1	受 取 手 形	4,000	売 掛 金	4,000
7／7	当 座 預 金	1,000	受 取 手 形	1,000
7／9	仕 入	2,000	受 取 手 形	2,000
8／1	当 座 預 金	2,900	受 取 手 形	3,000
	手 形 売 却 損	100		

なお、この受取手形記入帳から読み取れる取引に関する「受取手形」勘定の記入は以下のとおりです。なお、８月１日の仕訳において受取手形勘定の相手勘定科目が複数であるので、摘要欄には「諸口(しょくち)」と記入されます。

受 取 手 形

日	付	摘 要	仕丁	借 方	日	付	摘 要	仕丁	貸 方
4	8	売 上	省略	1,000	7	7	当 座 預 金	省略	1,000
5	2	売 掛 金		2,000		9	仕 入		2,000
6	5	売 上		3,000	8	1	諸 口		3,000
7	1	売 掛 金		4,000					

16－５　支払手形記入帳

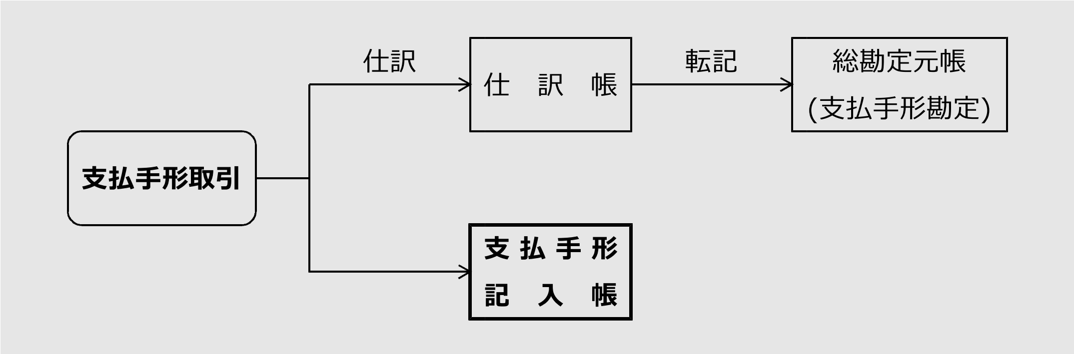
【重要性：Ａ】

ＰＯＩＮＴ！

①　支払手形記入帳から情報を読み取り、仕訳を行えるようにしよう！

②　総勘定元帳（「支払手形」勘定）との関係に注意しよう！

支払手形の明細を記録するための補助簿（補助記入帳）を、**支払手形記入帳**といいます。仕訳帳と総勘定元帳への記帳のほかに、支払手形に関する取引が支払手形記入帳に記帳されます。



支払手形記入帳は以下の手順で記入します。

① 日付欄には、取引が行われた日を記入します。

② 手形種類欄には、約束手形なら「約手」、為替手形なら「為手」と記入します。

③ 手形番号欄には、手形の番号を記入します。

④ 摘要欄には、仕訳の相手勘定科目を記入します。

⑤ 受取人欄には、手形代金の受取人を記入します。

⑥ 振出人欄には、手形の振出人を記入します。

⑦ 振出日欄には手形の振出日を、満期日欄には手形の満期日を記入します。

⑧ 支払場所欄には、手形代金が支払われる金融機関名を記入します。

⑨ 手形金額欄には、手形金額を記入します。

⑩ てん末欄には、支払手形の減少した日付とその内容を記入します。手形代金を当座により支払った場合には「当座支払」と記入します。なお、てん末欄に何も記入されていない場合は満期日が到来しておらず、支払っていないことを示します。

支　払　手　形　記　入　帳

日付		手形種類	手形番号	摘　要	受取人	振出人	振出日		満期日		支払場所	手　形金　額	てん末		
							月	日	月	日			月	日	摘　要
?	?	約手	22	仕　入	B商店	当店	?	?	?	?	x銀行	×××	?	?	当座支払
?	?	約手	23	買掛金	D商店	当店	?	?	?	?	x銀行	×××			

例題16－5 次の支払手形記入帳から読み取れる取引について、仕訳を行いなさい。

支払手形記入帳

日付		手形種類	手形番号	摘要	受取人	振出人	振出日		満期日		支払場所	手形金額	てん末		
							月	日	月	日			月	日	摘要
4	8	約手	22	仕入	B商店	当店	4	8	7	7	x銀行	1,000	7	7	当座支払
6	5	約手	23	買掛金	D商店	当店	6	5	9	5	x銀行	3,000			

日付	借方科目	金額	貸方科目	金額
4／8	仕入	1,000	支払手形	1,000
6／5	買掛金	3,000	支払手形	3,000
7／7	支払手形	1,000	当座預金	1,000

なお、この支払手形記入帳から読み取れる取引に関する「支払手形」勘定の記入は以下のとおりです。

支払手形

日付		摘要	仕丁	借方	日付		摘要	仕丁	貸方
7	7	当座預金	省略	1,000	4	8	仕入	省略	1,000
					6	5	買掛金	省略	3,000

16－6　商品有高帳

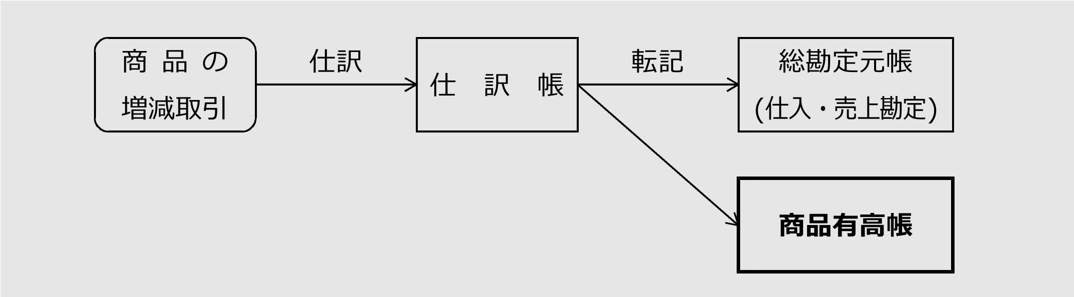
【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　商品有高帳から情報を読み取り、仕訳を行えるようにしよう！

②　総勘定元帳（「仕入」勘定、「売上」勘定）との関係に注意しよう！

商品の種類ごとの受入や払出などの明細を記録するための補助簿（補助元帳）を、**商品有高帳**といいます。仕訳帳と総勘定元帳への記帳のほかに、**商品の原価**に関する取引が商品種類別の商品有高帳に記帳されます。



商品有高帳は以下の手順で記入します。

① 日付欄には、取引が行われた日を記入します。

② 摘要欄には、取引の内容を簡潔に記入します。

③ 受入欄には、受け入れた商品の数量、単価、金額（＝単価×数量）を記入します。

④ 払出欄には、払い出した商品の数量、単価（仕入単価）、金額を原価（取得原価）で記入します。売価ではないので注意して下さい。

⑤ 残高欄には、取引後の数量、単価、金額を記入します。

⑥ 月初には摘要欄に「前月繰越」と記入し、月初の商品の数量、単価、金額を受入欄に記入します。また、月末には摘要欄に「次月繰越」と記入し、月末残の商品の数量、単価、金額を払出欄に記入します（赤字で記入（朱記）します）。

⑦ 受入欄と払出欄の合計金額を記入し（両者は一致します）、二重線（締切線ともいいます）を引いて締め切ります。

商　品　有　高　帳

日付		摘要	受入			払出			残高		
			数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
?	?	前月繰越	××	××	×××				××	××	×××
	?	仕　　入	××	××	×××				××	××	×××
	?	売　　上				××	××	×××	××	××	×××
	?	仕　　入	××	××	×××				××	××	×××
	?	売　　上				××	××	×××	××	××	×××
	?	次月繰越				××	××	×××			
			××		×××	××		×××			

例題16－6　次の商品有高帳から読み取れる９月の取引について、仕訳を行いなさい。

なお、商品売買はすべて掛取引であり、売価は@150円であった。

商　品　有　高　帳

日付		摘要	受入			払出			残高		
			数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
9	1	前月繰越	20	100	2,000				20	100	2,000
	5	仕　入	30	100	3,000				50	100	5,000
	10	売　上				40	100	4,000	10	100	1,000
	15	仕　入	50	100	5,000				60	100	6,000
	20	売　上				45	100	4,500	15	100	1,500
	30	次月繰越				15	100	1,500			
			100		10,000	100		10,000			

日付	借方科目	金額	貸方科目	金額
9／5	仕入	3,000	買掛金	3,000
10	売掛金	6,000	売上	6,000
15	仕入	5,000	買掛金	5,000
20	売掛金	6,750	売上	6,750

９月10日売上金額：@150×40個＝6,000

９月20日売上金額：@150×45個＝6,750

また、この仕入帳から読み取れる９月の取引に関する「売上」勘定、「仕入」勘定の記入は以下のとおりです。

売　上

日付		摘要	仕丁	借方	日付		摘要	仕丁	貸方
			省		9	10	売掛金	省	6,000
			略			20	売掛金	略	6,750

仕　入

日付		摘要	仕丁	借方	日付		摘要	仕丁	貸方
9	5	買掛金	省	3,000				省	
	15	買掛金	略	5,000				略	

第16章　帳簿の記入②　問題

問題16-1　以下の現金出納帳および当座預金出納帳から読み取れる仕訳を行いなさい。

現　金　出　納　帳

日	付	摘　　要	収　　入	支　　出	残　　高
4	1	前月繰越	60,000		60,000
	7	買掛金の支払い		33,000	27,000
	19	売掛金の回収	34,000		61,000
	21	当座預金へ預入		10,000	51,000
	27	旅費の支払い		9,000	42,000
	30	次月繰越		42,000	
			94,000	94,000	
5	1	前月繰越	42,000		42,000

当 座 預 金 出 納 帳

日	付	摘　　要	預　入	引　出	借または貸	残　高
4	1	前月繰越	120,000		借	120,000
	3	A商店より仕入		70,000	〃	50,000
	11	B商店へ売上	65,000		〃	115,000
	21	現金の預入	10,000		〃	125,000
	28	買掛金の支払い		50,000	〃	75,000
	30	次月繰越		75,000		
			195,000	195,000		
5	1	前月繰越	75,000		〃	75,000

問題16-2　**以下の小口現金出納帳から読み取れる仕訳を行いなさい。なお、当店は小口現金の管理方法として定額資金前渡制度を採用しており、１ヶ月の終わりに用度係は会計係に支払明細の報告を行うことにしている。**

小口現金出納帳

受入	日付		摘要	支払	内訳		
					交通費	通信費	雑費
3,000	6	1	小切手				
		3	はがき	400			
		5	電車代	200			
		7	バス代	300			
		9	電話料金	100			
		11	お茶代	500			
		15	切手代	700			
		24	お菓子代	600			
			合計	?	?	?	?
		30	次月繰越	?			
?				?			
?	7	1	前月繰越				
?		〃	小切手				

問題16-3 以下の受取手形記入帳と支払手形記入帳から読み取れる仕訳を行いなさい。なお、6月9日の手形の裏書きは、商品の仕入代金の支払いのためである。また、7月1日の手形の割引にかかる割引料は200円であり、手取額は当座預金に預け入れた。

受 取 手 形 記 入 帳

日付		手形種類	手形番号	摘 要	支払人	振出人または裏書人	振出日		満期日		支払場所	手 形 金 額	てん末		
							月	日	月	日			月	日	摘 要
2	9	約手	22	売 上	A商店	A商店	2	9	5	9	x銀行	50,000	5	9	当座入金
4	7	約手	52	売 掛 金	A商店	A商店	4	7	7	7	x銀行	20,000	6	9	裏 書 き
6	5	約手	10	売 上	E商店	E商店	6	5	8	5	x銀行	30,000	7	1	割 引
8	3	約手	77	売 掛 金	A商店	A商店	8	3	9	9	x銀行	40,000			

支 払 手 形 記 入 帳

日付		手形種類	手形番号	摘 要	受取人	振出人	振出日		満期日		支払場所	手 形 金 額	てん末		
							月	日	月	日			月	日	摘 要
3	3	約手	22	仕 入	B商店	当 店	4	8	7	7	x銀行	28,000	7	7	当座支払
6	1	約手	23	買 掛 金	D商店	当 店	6	1	9	1	x銀行	42,000			

第16章　帳簿の記入②　答案用紙

問題16-1

	借方科目	金　額	貸方科目	金　額
4/3				
7				
11				
19				
21				
27				
28				

問題16-2

	借方科目	金　額	貸方科目	金　額
6/1				
30				
7/1				

問題16-3

	借方科目	金　額	貸方科目	金　額
2/9				
3/3				
4/7				
5/9				
6/1				
5				
9				
7/1				
7				
8/3				

第16章　帳簿の記入②　解答解説

問題16-1　**解答**

	借方科目	金　額	貸方科目	金　額
4/3	仕　入	70,000	当座預金	70,000
7	買掛金	33,000	現　金	33,000
11	当座預金	65,000	売　上	65,000
19	現　金	34,000	売掛金	34,000
21	当座預金	10,000	現　金	10,000
27	旅　費	9,000	現　金	9,000
28	買掛金	50,000	当座預金	50,000

問題16-1　**解説**

現金出納帳における4/21「当座預金へ預入」と当座預金出納帳における4/21「現金の預入」は同じ取引なので、２重に仕訳を行わないように注意して下さい。

問題16-2 **解答**

	借方科目	金額	貸方科目	金額
6/1	小口現金	3,000	当座預金	3,000
30	交通費	500	現金	2,800
	通信費	1,200		
	雑費	1,100		
7/1	小口現金	2,800	当座預金	2,800

問題16-2 **解説**

問題文の小口現金出納帳の空欄を埋めると以下となります。電車代・バス代は交通費、はがき・電話料金・切手代は通信費、お茶代・お菓子代は雑費となります。また、仕訳を行うのは会計係であり、小口現金の支払明細の報告を受けた6/30に仕訳を行うことに注意して下さい。

小口現金出納帳

受入	日付		摘要	支払	内訳		
					交通費	通信費	雑費
3,000	6	1	小切手				
		3	はがき	400		400	
		5	電車代	200	200		
		7	バス代	300	300		
		9	電話料金	100		100	
		11	お茶代	500			500
		15	切手代	700		700	
		24	お菓子代	600			600
			合計	2,800	500	1,200	1,100
		30	次月繰越	200			
3,000				3,000			
200	7	1	前月繰越				
2,800		〃	小切手				

問題16-3　解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
2/9	受取手形	50,000	売上	50,000
3/3	仕入	28,000	支払手形	28,000
4/7	受取手形	20,000	売掛金	20,000
5/9	当座預金	50,000	受取手形	50,000
6/1	買掛金	42,000	支払手形	42,000
5	受取手形	30,000	売上	30,000
9	仕入	20,000	受取手形	20,000
7/1	当座預金 手形売却損	29,800 200	受取手形	30,000
7	支払手形	28,000	当座預金	28,000
8/3	受取手形	40,000	売掛金	40,000

問題16-3 **解説**

受取手形記入帳から読み取れる仕訳は以下のとおりである。受取手形記入帳のてん末欄に注意して下さい。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
2/9	受取手形	50,000	売上	50,000
4/7	受取手形	20,000	売掛金	20,000
5/9	当座預金	50,000	受取手形	50,000
6/5	受取手形	30,000	売上	30,000
9	仕入	20,000	受取手形	20,000
7/1	当座預金 手形売却損	29,800 200	受取手形	30,000
8/3	受取手形	40,000	売掛金	40,000

支払手形記入帳から読み取れる仕訳は以下のとおりである。支払手形記入帳のてん末欄に注意して下さい。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
3/3	仕入	28,000	支払手形	28,000
6/1	買掛金	42,000	支払手形	42,000
7/7	支払手形	28,000	当座預金	28,000